

日医発第 1753 号（技術）

令和 7 年 1 月 2 0 日

都道府県医師会 会長 殿

公益社団法人日本医師会

会長 松本 吉郎

（公印省略）

抗インフルエンザウイルス薬の安定供給に向けた取り組みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

季節性インフルエンザウイルス感染症患者の増加によって抗インフルエンザウイルス薬の需要が高まり、特にオセルタミビルリン酸塩製剤の不足が生じていることを踏まえ、本会として、別添のとおり、日本医薬品卸売業連合会会長宛に、「抗インフルエンザウイルス薬の安定供給に向けた取り組みについて」を令和 7 年 1 月 1 6 日付けで発出し、医療現場からの声を重く受け止め、関係会員各社による安定供給に向けた取り組みを強く要望いたしました。

つきましては、貴会におかれましても本件に関してご了知いただきますとともに、貴会管下関係医療機関等への周知方につきご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

日医発第 1739 号（技術）

令和 7 年 1 月 1 6 日

一般社団法人 日本医薬品卸売業連合会

会長 宮田 浩美 殿

公益社団法人日本医師会

会長 松本 吉郎

（公印省略）

抗インフルエンザウイルス薬の安定供給に向けた取り組みについて

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和 7 年 1 月 9 日時点の抗インフルエンザウイルス薬の供給状況（厚生労働省発表）については、卸売業者から医療機関への供給量（令和 6 年 12 月 2 日～1 月 5 日）が、「合計約 827 万人分」、また、令和 7 年 1 月 5 日時点のメーカー・卸売業者の保有量は、「合計約 1,506 万人分」と、推定患者数からは十分量との明示がされています。

しかしながら、特にオセルタミビルリン酸塩製剤の不足が生じている医療現場から日本医師会に対して、患者への適切な薬物治療に支障を来しているとの会員からの悲痛な訴えが寄せられています。

日本医師会としましては、医療現場からの声を重く受け止め、貴会関係会員各社に供給偏在が無きよう医薬品の安定供給に向けた取り組みについて対応いただくことを強く要望いたします。